

最近のしごと

神戸市中央区 屋根裏収納のはしご交換

「荷物を取りに上がれなくて困ってるのですがどこに頼めばいいかわからなくて」とのご相談。
30年以上前に施工された屋根裏部屋への収納はしご。長年使っているうちにはしごの金具がゆがんで上がれなくなっていました。運よく同じメーカーで新商品が発売されたところで新しいものと交換しました。お客様からは「これで荷物の整理ができます」と喜んで頂きました。



神戸市中央区 賃貸ワンルームマンション洗面台入替



賃貸物件の管理をされている方から「部屋の中に洗面化粧台があるのですが、若い女子向けに入れ替えたい」とのご相談。お化粧しているときにちょっと手を洗えたらいいんじゃないかということで今風のオンボウルの洗面台に。鏡の中は収納スペースになっています。

ワークショップのご報告

前回ご案内した我が家を使つての壁紙貼りが無事修了しました。一言で感想を述べると「大変でした!」



詳しくはホームページに掲載しております。

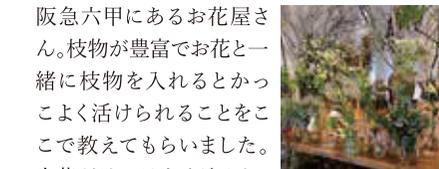


私の好きな店 vol.1.4

器や服、雑貨が好きな私の「好きなお店」を紹介するコーナーです。

オーダーメイドバッグ shibaf

いろんな国のファブリックの中から好みのものを選んで世界に一つだけのトートバッグを作ってくれるお店です。サロンは東京世田谷にあります。webshopでもオーダーすることができます。布好きな方にはきっと気に入ってもらえると思います。
<http://www.shibaf.com/>



花屋 vetita

阪急六甲にあるお花屋さん。枝物が豊富でお花と一緒に枝物を入れるとカッコよく活けられることをここで教えてもらいました。生花だけではなくドライフラワーのアレンジなども魅力的です。

ヴェスティタ 神戸市灘区山田町3-1-15 078-862-3876
<https://vestita.info/>



ワカバヤシ工務店

どうする？

雨漏り被害

近年多くみられる、台風・大雨被害には、早期対処が大きなカギを握ります。

住まいには思いもよらぬトラブルが起こります。適切な対処法を知ること、暮らしの安全はグッと高まります。



事例 雨漏り被害 放っておくと大変なことになります。

実家の出来事です

恥ずかしながら私の実家の惨状をお見せします。

3階の踊り場の天井と2階から3階への階段の壁です。

実家は築25年の重量鉄骨3階建てです。阪神大震災で全壊し建て替えました。実家には今誰も住んでいません。

東京に住んでいる弟夫婦が1年に数回は帰ってくるのでいつでも泊まれるようにそのままにしていました。ですが昨年からのコロナ禍で帰ってくるのができず、しばらく誰も行かない状態でした。

先日用があつて実家へ行ったところ、こんな状態になっていたのです。すぐに夫(若林大工)に屋根の上まで上がって見てもらいました。経年劣化による防水シートのひび割れからの雨漏りでした。とりあえず応急処置でひび割れしている箇所をふさいでもらって、これから本格的に修理に入ります。



写真の説明書き

写真の説明書き

写真の説明書き

ワカバヤシ工務店 090-5368-8328



現場でラクラク

カードOK



連絡ラクラク

LINE OK

LINEでお問い合わせいただけます。



改めて実感

「人が住んでいない家は傷む」ということはよく耳にしていたのですがたった数ヶ月でこんなことになるなんて思いもしませんでした。

大丈夫でしょうという楽観と後悔

数年前に外壁塗装はやり替えたのですが屋根の防水処理まではしなかったのが悔やまれます。写真のようにここまでひどくなると天井や壁の壁紙だけではなく下地材もすべてやり替えなければいけないので費用もかさみます。

屋根の上のことは普段は目につかないし、家の中のことに気を取られて外回りのことはどうしても後回しになってしまいがちです。ですが、雨漏りが一番の大敵です。いくら家の中がきれいでも外からの水の侵入を防ぐことはできません。

大丈夫でしょうという楽観と後悔

みなさんのお宅もいつ屋根の点検をしたか思い出してみてください。しばらく点検をされていないお宅は梅雨や台風季節が来る前に一度点検をしてもらうことをお勧めします。

台風や大雨の前に 自分でできること。

忙しい毎日で、なかなか確認できない外回りの環境。テレビで台風が近づいているニュースを見たら、ぜひチェックしてみてください。

台風が近づいたら

- ・ベランダのものを家中へしまおう
- ・雨戸やシャッターを閉める
- ・飛来物の飛び込みに備えカーテンやブラインドをおろす
- ・暴風雨の場合、雨戸がない窓ガラスに養生テープ等をバテンに貼り飛散防止に備える

台風が来る前に

- ・雨樋(どい)詰まりの確認
- ・ゴミの詰まりや破損箇所の確認は、雨が降っているときに雨水が溢れている箇所がないか確認しておく
- ・ベランダの排水溝・雨樋の掃除
- ・火災保険の確認(風災被害)
- ・飛散防止フィルムを窓ガラスに貼る

こちらチェック

兵庫県CGハザードマップ 地域の風水害対策情報



このサイトで確認できる情報

- ・ハザードマップ(洪水、土砂災害、ため池、高潮、津波)
- ・気象情報
- ・河川ライブカメラ
- ・動画で見る防災学習など

ハザードマップで 避難場所の確認を しておきましょう。



Case Study 実例紹介



飛来物保険の活用

台風で隣の家の壁が飛んできて、壁に穴が空いた。



誰に起こってもおかしくない事態

ある日、お客様から「台風で隣の家の外壁が飛んできて我家の外壁に穴が空いた。見て欲しい」との依頼がありました。

被害場所を見ましたら、隣の家の2階部分の外壁が剥がれ落ち、お客様宅の1階外壁に数ヶ所傷と穴が空く被害となっていました。

お客様がお隣さんに状況を説明したところ、お隣の外壁には以前からひび割れが有り「そちらで直して下さい。掛かった費用は支払います」とお話しを通しておられました。

私はさっそく外壁被害が有った数ヶ所を修繕する手はずをつけました。お客様に修繕の仕方やリスクなど説明しましたら「部分的な補修ではなく、元のような見栄えに戻してほしい」というご要望がかえってきました。

修繕方法はピンからキリ

被害箇所をみの修繕の場合は数万円で済みますが、元の見栄えにすると100万円は掛かる大工事になります。(特殊な手法だったため、足場やクレーン脱着、シール工事、板金工事などが増えるため)そうなる、お隣さんが支払ってくれるか問題となってきます。

役立つ経験値

私は、今までの経験からお客様の加入している保険で修繕が出来ないか提案。被害の原因はお隣さんなので“飛来物”でお隣の保険を探したところ該当する保険が有り、保険会社から使えると確認が取れました。

結果、お隣さんには請求せず、お客様の保険を使用しましたが、免責も保険の掛金も上がる事なく双方に喜んで戴きました。

昨今の異常気象で、災害が出る程の台風や強風も増えて来ました。加入している保険の把握も大切かと言えます。

大工 若林直也